



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation

公益財団法人 Save Earth Foundation

〒144-0043 東京都大田区羽田 1-1-3

ニュースリリース

2022年7月29日

## 「愛知県あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」に採択されました



公益財団法人 Save Earth Foundation（所在地：東京都大田区、以下「SEF」）は、株式会社小柵屋と共同で、愛知県環境局資源循環推進課が企画している「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」へ「**脱炭素社会とサーキュラーエコノミーが両立するリサイクルループの高度化と横展開検討事業**」を応募し、このたび採択されましたのでお知らせいたします。

### ■ 資源循環事業

SEF では、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、限りある自然資源を有効利用し、持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的に活動しています。資源循環事業では、食品ロス削減と食品資源循環「食品リサイクルループ」の構築、及び廃棄物全般の課題解決を目的とした勉強会「ゼロエミッション研究会」を開催し、排出事業者、リサイクル関係事業者、行政、生産者へ食品リサイクルループの教育・普及活動を行っています。

### ■ 「脱炭素社会とサーキュラーエコノミーが両立するリサイクルループの高度化と横展開検討事業」

本事業では愛知県内から発生するコーヒー豆粕を、資源循環（食品再生利活用）と脱炭素社会（乳牛のメタン発生抑制及び茶葉生産の化学肥料削減）などの付加価値を付与した高機能飼料および肥料として活用し、サーキュラーエコノミーの事業モデルを検討します。

（検討方法）

#### ① コーヒー豆粕リサイクルループの高度化

- ・コーヒー豆粕排出事業場におけるオンサイト乾燥の事業モデルを検討
- ・コーヒー豆粕を原料とした飼料および肥料について、更なる需要を創出するためのブランド化検討（環境負荷低減効果の見える化等）

#### ② コーヒー豆粕リサイクルループの横展開

- ・様々な排出源からの排出パターンに対応できる回収ルートの確立、回収時の品質確保に関する手法の検討
- ・コーヒー豆粕から製造する飼料・肥料を利用した循環経路におけるトレーサビリティを確保する仕組みの検討

□ 参加協業企業・団体：

- リサイクラー：(株)小柵屋 ○ 飼料の効果検証：麻布大学、(株)メニコン ○ 乾燥機メーカー：グレンカル・シナリー(株)
- 流通支援：JA 全農 ○ コーヒー豆かす排出事業者：食品関連事業者

「お問合せ」 公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局 担当：清水・田中

TEL:03-5737-2744 / メール:info@save-earth.or.jp